

1. 支援テーマ
<p>テーマ：安全管理システム（任意 ISM コード）運用の効率化</p>
2. 支援先企業の概要
<p>会社名：匿名 所在地：愛媛県 業種と業種構成：内航船舶貸渡業 従業員数：約 20 名</p>
3. 支援依頼の背景
<p>同社は愛媛県にて、内航タンカーの貸渡業（内航海運業）を事業展開している。内航海運においては、1980 年代後半以降に多発した海難事故の未然防止を目指して、外航海運に義務付けられた「国際安全管理規則（ISM コード）」の内航海運版といえる「任意 ISM」の取得が事実上の事業継続の前提条件となってきた。</p> <p>一方で、内航海運事業者（および社員）も、船舶の安全を守る事の重要性和、ISM の有用性を周知 / 徹底しているが、任意 ISM の維持に必要な「安全管理マニュアルの維持管理、チェックリスト・記録紙の作成 / 保管など」は、運航業務 / 荷役業務に加えられた新たな業務として大きな負荷となっている。</p> <p>そこで、船舶の安全を維持しつつ、管理業務を効率化する事が喫緊の課題として挙がっていたが、有効な対策が打てない状況であった。</p> <p>以上のような背景の中、『乗組員の負荷軽減』と『安全管理業務内容の更なる浸透』、および『安全管理業務の効率化』に関する支援要請を受けた。</p>
4. 支援内容
<p>同社社長の当初のご要望は『ISM 管理のシステム化を視野に入れた合理化』であったが、社員自身（陸上責任者 / 乗組員）が参画した安全管理業務に関する全体像の把握と、負荷になっている業務の洗い出し、その結果に基づいた運用方法の変更による負荷軽減が、『社員の安全管理意識の更なる浸透につながる』ことに合意いただき、『現行業務抽出』および『業務フロー分析』を通して、効率化された業務フローを図式化した『安全管理業務運用マニュアル』の作成支援を実施する事とした。</p>
5. 同社の業務改善ポイント
<p>今回の支援を通して改善を図ったポイントは以下の通り。</p> <ul style="list-style-type: none"> 安全管理業務構成図の作成による「安全管理業務全体像の理解」 各業務の図式化（業務フロー化）による「理解度の向上」と、「役割の明確化」 IT 活用（船舶とのメール交換による文書管理の効率化）と役割分担の見直しによる「生産性の向上」
6. お客様の声
<p>管理専門家のアドバイスにより、気がつかなかった多くの修正箇所を発見でき、多大な学習効果を得ることが出来ました。</p>